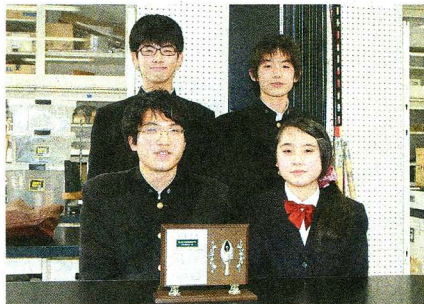


県立倉敷天城高・天城流体班

軽い2物体の奇妙な落下運動



物体の動き

定理で考察

いずれも理数科3年の三宅大和さん(18)、奥山涼香さん(18)、内田健太さん

(18)、青葉隆仁ひゅうとさん(18)

の4人が3年間、一緒に研究を続けてきた。

紙を丸めて円すい形にし

たものを、同じ高さから2個並べて落としました。すると、

接近しても衝突せず、離れては近づく運動を繰り返しながら落下することに興味を持ち、テーマに選んだ。

連続ストロボ撮影で収めた写真をもとに解析。空気中で見せた蛇行のような動きを、質量保存の法則や空気の粘性など、物理学の定理をもとに考察した。

4人は研究者や技術者、医師を目指しているといい、「本格的な研究ができた。この経験を生かしたい」「自分たちの力でまとめることができた。貴重な体験だった」と振り返る。

(前列左から)三宅さん、奥山さん、(後列左から)内田さん、青葉さん(県立倉敷天城高校で)